



令和2年度  
みんなが主役の地域づくりフォーラム



---

---

八潮市の地域づくりチームの活動報告

---

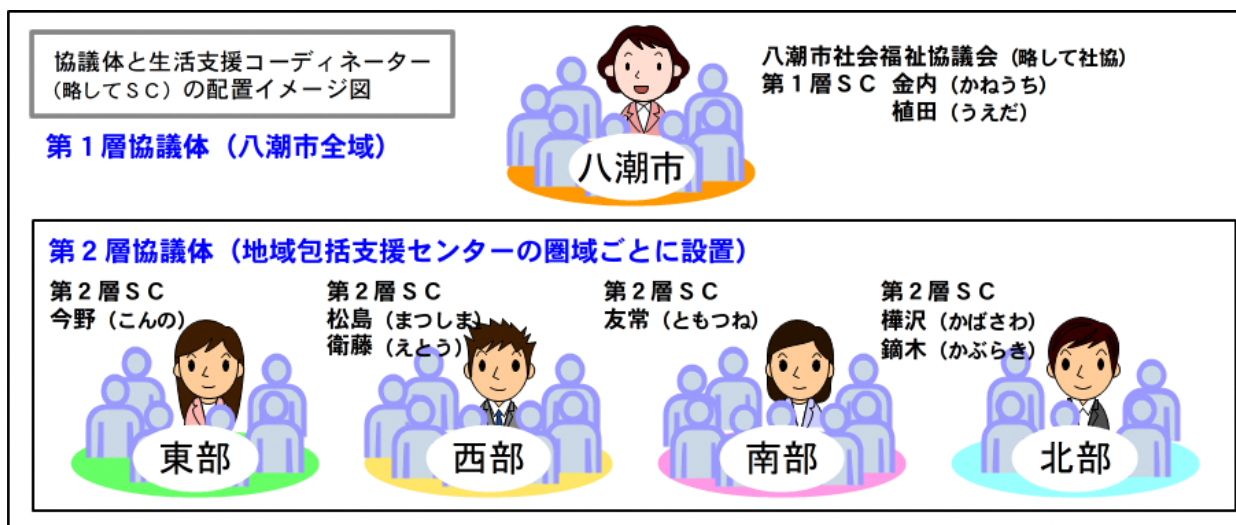
---

令和3年2月12日(金)

# 八潮市の地域づくりチーム（協議体）とは？

協議体は「地域にあったらいいな！」を“かたち”にするために、地域の仲間とつながり、話し合い、できることに取り組んでいく**地域づくりチーム**のことです。

八潮市では、平成30年度に市民向けのフォーラムと勉強会を開催し、参加者の中から有志を中心に、令和元年度に第2層協議体が立ち上がりました。



# 地域づくりチーム（第2層協議体）は日常生活圏域に4カ所

<b>西部</b>	人口 19,194人 (高齢化率 25.07%)
該当エリア	小作田、松之木、 中馬場、上馬場、 西袋、柳之宮、南後谷、 中央一～四丁目、 緑町一・二・四丁目、 八潮八丁目
協議体	にこっとよりあい会
<b>南部</b>	人口 29,546人 (高齢化率 17.32%)
該当エリア	大瀬、古新田、塚、 大原、浮塚、大曽根、 大瀬一～六丁目、 茜町一丁目
協議体	困(こま)ちゃん 気にかかけ隊



<b>北部</b>	人口 16,770人 (高齢化率 31.72%)
該当エリア	八條、鶴ヶ曽根、 八潮団地、伊草、 伊草団地、 新町、緑町三・五丁目
協議体	ほくぶ花しい隊
<b>東部</b>	人口 26,902人 (高齢化率 21.11%)
該当エリア	二丁目、木曽根、 南川崎、伊勢野、 八潮一～七丁目
協議体	やしおの東サポート隊

八潮市 総人口 92,412人  
(高齢化率 22.64%)

※人口及び高齢化率は、令和2年10月1日現在

## 令和2年度の八潮市の地域づくりチームの活動は？

感染症拡大の状況によっては、地域づくりに向けての話し合いの場が思うように開催できないこともありました。話し合いの再開も地域の状況により様々です。

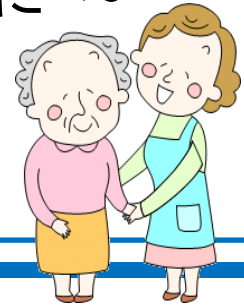
それぞれの地域づくりチームが、感染症対策を行い、メンバーの安全を配慮した上で、「地域に何が必要か」「自分たちに何ができるか」について話し合いを重ね、活動に取り組んで参りましたので、報告いたします！



## 東部 第2層協議体

～ 八潮の東、助け合い（サポート）を大切に ～

# やしおの東サポート隊



## 令和2年度の活動

- 令和元年度から取りかかっている、身近な困りごとアンケートの結果から「遠方への買い物、電球交換、病院や外出の際の付き添い、たまには外食したい！」との声が上がった。

結果と地域の現状を踏まえて、東部地域では「買い物バス」に取り組むことに決定した。

### <理由>

- ・ 伊勢野、南川崎、木曽根、二丁目地域は買い物をするところが少なく、困っている高齢者が多い。
- ・ 自分の目で見て買い物をしたい。
- ・ 高齢者の運転操作ミスによる事故が増えている。
- ・ 自分が買い物に行けなくなった時に買い物バスがあると便利
- ・ 社会福祉法人がメンバーにいるため協力を得やすい。



## 令和2年度の活動

### ● 「買い物バス」の実施方法（案）

運行日時：毎週水曜日（祝日を除く。）

10:00～12:00

定員：7人（他、運転手1人、ボランティア2人）

対象者：1人でお買い物ができる方

利用料：無料

協力者：バス・運転手 … 高齢者福祉施設 やしお苑

ボランティア … 住民から募集

行き先：フレスポ八潮



まずは「買い物バスお試し運行」やってみる！

## 令和2年度の活動

### ● 「買い物バスお試し運行」のスケジュール

10:00 やしお苑に第2層協議体メンバー集合

10:05 やしお苑を出発

参加者3人の自宅へお迎え

10:40 フレスポ八潮に到着、買い物開始

11:40 買い物終了後、待ち合わせ場所に集合

参加者3人を自宅へ送る

12:15 やしお苑に到着 第2層協議体メンバー解散

検温・手指消毒を  
行います！





## 令和2年度の活動

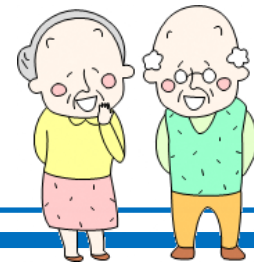
- 「買い物バスお試し運行」の振り返り（感想、気づいたこと）
  - ・ 参加者の所在がわからなくなったため「今日はどこのお店にお買い物へ行くのか」など、確認した方が安心
  - ・ メンバーと参加者が初めて顔を合わすことやマスクで顔が隠れていることから、参加者が身につけられるバッジなどの目印があると良い。
  - ・ 送迎に時間がかかったため、送迎の方法について検討が必要
  - ・ 参加者がとても喜んでおり、メンバーの自分も嬉しくなった。
  - ・ 買い物バスを利用した参加者の感想にもあったが、今後、買い物の流れでお茶飲みや昼食会などができると良い。

次回は、令和3年度の本格始動に向けて、改善しながらお試し運行を行うこと、買い物バスの啓発チラシについて、話し合います！

## 西部 第2層協議体

～ みんなが笑顔で集まれる場所をつくっていきたい ～

にこっとよりあい会



### 令和2年度の活動

- 「やりたいこと」「できること」についての話し合い
  - ・ 高齢者や障がいのある方の避難を見直す。
  - ・ 悩みごとの相談ができる場づくり
  - ・ 身近な避難場所の周知のためのマップの配付
  - ・ 防災講座
  - ・ 地域の方の声が聞きたい。地域の現状を知りたい。
  - ・ 支援が必要な方をもっと元気にしたい。
  - ・ 交通の便を良くしたい。ちょっとした壊れものを修理したい。
  - ・ 高齢者に使い方やより活用できるサービスを知ってもらうためのスマートフォン講座
  - ・ 近所の方が集まるカフェづくり
  - ・ 話し相手や買い物支援などを助けてくれる人を増やしたい。
  - ・ 平常時・災害時だけでなく、感染症流行時を配慮して、できることを検討していく。
  - ・ みんなが気晴らしになることをしたい。

### 令和2年度の活動

- 話し合いの中で様々な意見が出たが、特に自分たちの地域の防災についての関心が高かった。令和元年度の話し合いで、台風19号災害が話題になったこともあり「他人ごとではない」との思いがある。

今年度は「防災」をテーマに、どのようにしていったら災害時に声を掛け合えるか、日頃のつながりについて考えていくことになった。

そこで、メンバーから、やしお孤立問題研究会の「避難所運営ゲーム」をやってみませんか？との提案があった。



### 令和2年度の活動

- 「避難所運営ゲーム」をやってみよう！

「避難所運営ゲーム」とは、紙面上で避難所を開設し、様々な方がやってきて、その都度出てくる課題について対応していく。HUG（ハグ）ゲームとも言う。



### 令和2年度の活動

#### ● 「避難所運営ゲーム」参加者アンケートの結果

##### ＜参加者の意見・感想＞

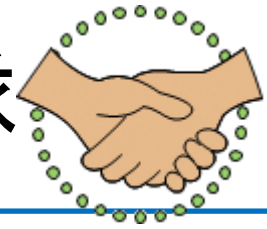
- ・ 地域の防災の把握や課題の再発見につながった！
- ・ 地域住民がこのゲームを体験することで、防災に関する意識づけになると思うが、体験に向けて、どのような工夫や配慮が必要か検討する必要がある。
- ・ このゲームを通して、町会区域などの地域の防災について、どのような準備や配慮が必要か、考えるきっかけになると良い。

次回は、今回の勉強会で学び、出てきた課題を共有し、自分たちが地域でできそうな活動について、話し合います！

## 南部 第2層協議体

～ 困っている方を気にかけたい ～

困(こま)ちゃん気にかかけ隊

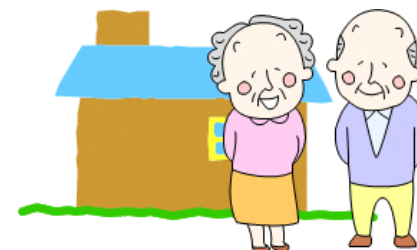


### 3. 困(こま)ちゃん気にかかけ隊

(1/2)

#### 令和2年度の活動

- コロナ状況下であるが「何かできる活動をしたい！」とのメンバーの意見を踏まえて、話し合いを行った。その結果、令和元年度の話し合いで上がっていた「南部地域にカフェ（高齢者ふれあいの家）をつくる」ことに決まった。参加者が自由に過ごせる居心地の良い場所をつくりたい。また、カフェの運営にはボランティアも検討していくことになった。





### 3. 困(こま)ちゃん気にかかけ隊

(2/2)

#### 令和2年度の活動

- カフェの場所については、南部地域にある店舗の協力が得られそうである。現場確認を兼ねて、現地で話し合いを行った。

令和3年度の開設を目指して準備をしていく。

メンバーで手分けをして、他の高齢者ふれあいの家「たんぽぽカフェ」と「パルコカフェ」を見学し、参考にすることになった。



次回は、カフェを見学した感想の報告と開設に向けて、いつまでに何をどう進めていくか、スケジュールについて、話し合います！

## 北部 第2層協議体

～「柔らかい雰囲気」と「親しみやすさ」を感じてもらえる～

# ほくぶ花しあい隊



## 4. ほくぶ花しあい隊

(1/2)

### 令和2年度の活動

- 令和元年度から着手している北部地域の社会資源の地図づくりを継続している。(カフェ、高齢者が集まっている公園、ウォーキングコース、公民館・集会所、介護保険施設や介護サービス事業所、医療機関などを地図に書き込む。)



### 令和2年度の活動

---

- 北部地域にある社会資源の把握や既存のものを充実させるための取り組み
  - ・ 「八潮団地お互いさま助け合いサポーター」の見学（買い物支援を行ったり、お茶飲み場や物々交換の場が設けられている。
  - ・ 北部のオレンジカフェ（認知症の当事者やその家族の集いの場）をより良くするための話し合い

社会資源の把握の結果、次回以降は、入谷・高木地域の買い物支援、松之木地域のカフェの立ち上げについて、話し合います！



ご清聴ありがとうございました。

